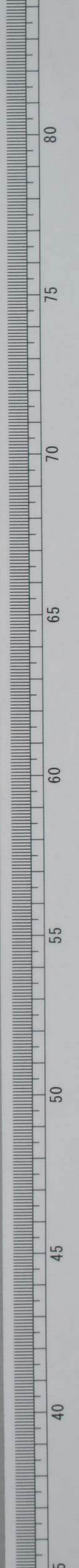


西垣文庫
文庫 10
8856



天ツ日のけをて照らす
君ニたり如くわのけを
照らす

人乃を乃酒すさしりぬ人比也
和はてし酒のしき山の方
泰山後不陽
之身

火ニ林火のき水ニ沈い至尚消え才
李斯を馬の秦篆十字
泰山雜詠
玄耳

村人の心
まよひの心



村人

心

まよひの心
まよひの心

金栗哉



13

木
到
年
歲
暮
作
夕
年

12

西垣文庫
文庫 10
8856
13



13



12

西垣文庫

文庫10

8856

15

隆平福屋戸の
 塩がまゝ水の
 中より
 湯の
 精
 考
 筆
 山
 魯文



15

西垣文庫

文庫10

8856

14



14

ふの
ま
の
う
ず
と
年
の
ゆ
も
挿
る

蛤の出る糸で捲くる
汐干符

八十三翁外



丈正申

元日の楊花

身はなほ
ほしき花と共

今あらけり
地を初日を
念

奇海祝

大海舟ついでに
ひりりをあやめ
忠義とありま
祝彦一

